

られている。この前後の部分は著者の清水氏が最も苦心したところであろう。これがあるために今後根系を研究するものにとっては欠かせないものとなっている。(山崎 敬)

□初島住彦・天野鉄夫：増補訂正琉球植物目録 *Hatusima, S. T. Amano : Flora of the Ryukyus, south of Amami Island, Second edition, enlarged and revised by S. Hatusima* 393 pp. 沖縄生物学会 The Biological Society of Okinawa, Okinawa.

表題のとおりこれは1958年に初版、1957年に改訂版が出版された琉球植物目録の増補訂正版である。本書はいまだ分類学的な検討を必要とする分類群の多い琉球の植物相の解明に長年貢献された著者ならではの著作である。これまで同様に主として初島の見解にもとづいた、この地域に自生ならびに栽培される植物の学名一覧である。*Pandanus odoratissimus* f. *ferrenus* (Y. Kimura) Hatusimaなどいくつかの非公式な新見解とヒツジグサ属などで和名の提唱がおこなわれている。この新見解はぜひとも早急に公式に発表されることを著者をお願いしたい。(大場秀章)

□Czerepanov S. K.: *Vascular Plants of Russia and Adjacent States (the former USSR)* 516 pp. 1995. Cambridge University Press, Cambridge. £ 60.

本書は1981年に出版された「*Plantae Vasculares URSS*」の new edition にあたるもので、旧ソ連に分布する自生植物や帰化植物を含めた216科21770種あまりの維管束植物を収載している。内容は植物の学名とそのシノニムリスト、およびその植物が分布する地域のみを記載した簡単なものである。植物の分布に関する情報は、旧ソ連を(1)東ヨーロッパ、(2)コーカサス、(3)西シベリア、(4)東シベリア、(5)極東、(6)中央アジアの6つのパートに分け、該当する数字を記載している。本書の中で植物は科名から種名に至るまでアルファベット順に並べられていて、特定の植物のおおまかな分布やシノニムなどの情報を得るには使い勝手が良い。(近藤健児)

□Blunt W. and Stearn W. T. : *The art of botanical*

*illustration*. New edition revised and enlarged by W. T. Stearn 368 pp. 1994. Antique Collectors's Club, Suffolk, UK. £ 29.95.

この本の初版は、ロンドンの Bloomsbury Books が出した *The New Naturalist* シリーズの1冊として、1950年に Blunt の著書として出版された。Blunt は Stearn によれば植物はまるで知らない美術の専門家で、植物や植物学の知識は Stearn が授けた。その1967年版は日本語に翻訳され八坂書房から出版されている。

今度の新版はこれまでの版にあった、抽象的表現が減り、問題を具体的に示すための用例が増えた。植物画家の名前だけでなく、その画家が関わった出版物と植物学者が明示されている。キューを中心に未刊行の書籍やスケッチが採録されたり、こうした証拠品へのコメントが増えた。これは、植物分類学と植物学史、書誌に通じている Stearn のなまなかではない情熱に負うものである。細かな文字で印刷された脚注を加え、本書を陵駕する植物画論・史は将来望めるだろうか。

これまでの版ではおざなりであった、中国と日本の植物画についての記述も充実した。1994年に刊行されたシーボルト・コレクション中の川原慶賀の作品も採録されている(惜しむらくは印刷の色が悪い)。植物の図譜の文献目録としては、Claus Nissen (1966) や Hunt の *Bibliography* などがあるが、本書にも Curtis の *Botanical Magazine* などについての書誌学上のコメントがあり、この面からも意義深い。(大場秀章)

□Stewart J. and Stearn W. T. : *The orchid paintings of Franz Bauer* 160 pp. 1993. The Herbert Press, London. £ 25.00.

これは、19世紀前半の偉大な植物画家、Francis (Franz) Bauer (1758-1840年) が描いたラン科植物の図画の原図刊行を主目的としている。原図は、ゲッティンゲンの *Niedersächsische Staats- und- Universitätsbibliothek*、ロンドンの自然史博物館及びキュー植物園に保管される。Stewart がラン科植物、Stearn が Bauer について書いている。ラン科植物と植物画の愛好者には特に興味深い本であろう。(大場秀章)